

IE(生産工学)実践指導のご案内

これからやる!
今だからやる!

人件費高騰！ 原材料費変動！ 輸送コスト変動！ など、工場を取り巻く外的要因は、刻一刻と変化します。

そして、得てして、この外的要因は、自社ではコントロールできない事が常です。これらの外的要因は、自社だけではなく、競合他社にも同様に影響します。

特に中国沿岸部の人件費高騰により既に低コスト(人件費)の優位性が享受できなくなり、工場は、次のフェーズに進まなければならない様相を呈しております。

では、コストの安いエリアに拠点を移動しますか？どこまで行きますか？
それとも、工場のパフォーマンスを向上させますか？勝ち残りますか？

人件費。上がったものは下がりにません！

次フェーズは生産効率改善による付加価値の創出

如何にして、生産性を向上させて、付加価値生産により多くのリソースを投入できるか？また、併せて品質維持、品質向上を実現するか？現場の課題は今後、更に難度を上げ、高度化して行きます。

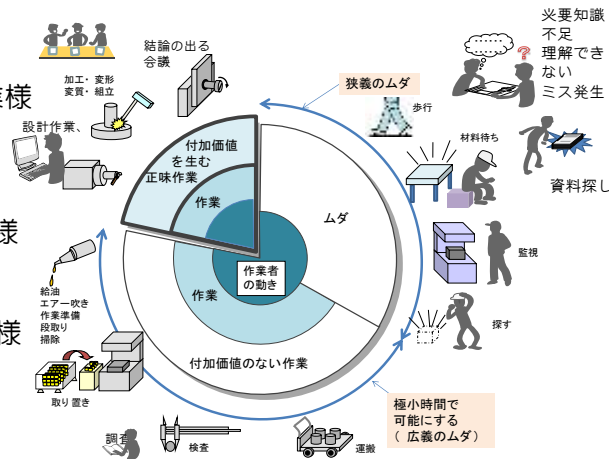
その為には、この中国においても、IEの本格的な導入が必要不可欠であり、日系企業のノウハウがモノを言うフェーズに来ております。





- 投入資源(費用:人件費、設備費、建屋費、電力費など)に対するアウトプット(生産高や生産量)を最大化する技術です。
- 人当たりの生産量や時間当たり/面積当たりの生産量の最大化を図り、「儲かる工場」を実現することが狙いです。その手段として「稼働率分析」「作業分析」「ムダの排除」「ラインのバランス化」「工程や設備の再配置」などを実行します。
- 製造現場を自力改善しませんか？自社で改善できる体質にしませんか？
- 製造現場改善には、「ムダや異常に気付く力」と「効率的生産を実現する論理」が必要です。
- 製造現場改善の基本である「IE」の実践者を育成します。



下記の様な企業様

- IEを中国工場に取り入れたい企業様
 - ストップウォッチやビデオを使ってIE改善に取り組んでいる企業様
 - 人手の作業が多く、歩合給を導入している企業様
 - 生産性と品質の両立を目指している企業様
 - 人件費高騰に苦しみ人件費圧縮を検討している企業様
 - 製品サイクルが短期で、新製品の垂直立ち上げが必要な企業様
 - セル生産方式(屋台生産方式)を採用されている企業様
 - 作業の標準化を徹底したい企業様
 - IEについて、専門外なので、専門家に指導してもらいたい企業様
 - IEの概念は理解できるが、具体的な方法が分からない企業様
- などの企業様



分類	内容
IE実践指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・製造現場の実課題に対し、課題解決の手順を指導 ・現状分析/改善方法立案/改善実施/効果評価までマンツーマン指導 改善チームを作り、3~5テーマの改善を同時進行
作業分析ツール活用指導 (タイムプリズム) 	<ul style="list-style-type: none"> ・分析ツールの操作方法 ・作業分析時のツール活用手段 ・作業改善の着眼点 
IE講座 	<p>※貴社都合に合わせて、開講時期と頻度をカスタマイズします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準原価 ・稼働分析 ・ムダの発見 ・標準作業 ・作業バランス ・動作分析 ・改善の着眼点 ・改善効果の検証 など

先ずはお気軽にご相談ください！